

●● 入学・進級 おめでとう ●●

在校生は、新しい教室へ自分の荷物を持ってお引越し。
お姉さんになったから、自分のことは自分で頑張ります！



入学おめでとう！

新しい友達をスズランテープのトンネルでお出迎え。

●● 大きな こいのぼり ●●

大きな布に、絵の具でぺたぺた色を付けて、乗れるくらい大きなこいのぼりを作りました。絵の具はぬるぬる…最初は感触が苦手だったけど、みんなで一緒に作っていたら、だんだん楽しくできるようになりました。子供たちの目の前で、ミシンで縫い合わせてトンネルになることを確認し、目を貼って完成！できたこいのぼりをブランコにしたり、くぐったり、色々なことをして繰り返しあそびました。



こいのぼりで、
ブランコ、トンネル、
バルーン…
たくさん あそべて
楽しい♪



ミシンでガタガタ…
くっついた！
ミシンって すごいね！



●● 野菜を 育てよう ●●

トマト、ピーマン、キュウリ、ナス、カボチャ、サツマイモ、様々な野菜を育てました。土の中の根を触りながら確認したり、葉や茎の感触が種類によって違うことを発見したりしました。美味しい野菜をたくさん収穫して、みんなでおいしく食べました。



●● たなばた 劇あそび ●●

たなばたの織姫と彦星のお話を劇あそびにして楽しみました。劇あそびを通して、登場人物の色々な気持ちになったり、生き物によって動き方が違うことに気付いたりしました。「たなばた会」では劇の発表やお星さまゲームを楽しみ、「今日の夜、織姫と彦星は会えるかな？」と夜空へ思いを馳せる子供たちでした。

ぼくの名前は彦星。
牛のお世話が仕事だよ。



私はかささぎ。
橋を架けてあげるよ！

やっと会えたね ♡♡



●● ボディ ペインティング ●●

全身に絵の具を塗り付け、感触あそびを楽しみました。体をスタンプにしたり、友達と塗り合いっこをしたり、洗面器に入って足を滑らせてみたり、幼稚部でしかできないダイナミックなあそびを、思う存分楽しみました。体を洗うときも、友達と一緒にだと楽しい温泉ごっこに早変わり。最後まで余すところなくあそびつくしていました。



体の形になるかな？

ぬるぬるして
気持ちいい♪



●● おつきみ ●●

「で～た で～た つきが～♪」と歌いながら、お月様と雲役になってあそんでみて、「雲に隠れる」とはどんなことが分かりました。

毎日少しずつ月の形が変わることを知り、「今日の月はどんな形かな？」「月の他にはお空に何があるの？」と夜空への関心が広がりました。

おつきみ当日は、秋においしい食べ物を家から持って来て、みんなでお月様にお供えをして楽しみました。



お月様 どうぞ。
秋においしい
野菜と果物だよ！
食べてね！

かくれた くもに
くろい くろい
まっくろい
すみのような くもに♪



●● 砂あそび ●●

年度初めに控え目だった砂あそびは、穴を掘ったり、山を作ったり、水を使ったりするうちにどんどんダイナミックに展開するようになり、夏には連日泥まみれで元気にあそぶ姿が見られるようになりました。初めは砂の感触が苦手だった子も、友達と一緒に繰り返しかきあそぶうちに、砂あそびが大好きになりました。砂の可塑性を楽しむことはもちろん、道具を使う手、穴を掘る手、砂を集める手、水をすくい上げる手、泥団子を作る手…様々な手の使い方を身に付けました。不安定な砂場を歩くことで体幹も鍛えられます。砂あそびってすごい！

4 月のはじめ



プルコギ屋さんです！

ドキドキ…
初めての裸足



5月 少しずつ砂の感触に慣れて…



穴を掘って温泉にしよう

水は足と手だけね…



6 月以降は ダイナミックに楽しむ！



水屋さんですよ～
お水、ほしい人～



力を合わせて
やってみよう！



山の上のお月様にお水をあげるね！

田んぼの土の
どろんこ風呂
ぬるぬる～♪



●● ハロウィンごっこ ●●

お面と服を作っておばけに変身！保健室、寄宿舍、小学部の教室、学校のいろいろな所へ、いたづらをしに出かけました。楽し過ぎて、その日はそのまま「おばけ朝の会」。名前呼びはおばけみたいに震える声で「ふあああ～い…」と返事をしたり、椅子をガタガタさせたり、おばけになりきって楽しみました。



●● 「3びきの こぶた」ごっこ ●●

「3びきのこぶた」の絵本の読み聞かせが、劇あそびに発展。おおかみやぶたのお面を作ったり、しっぽを着けたり、小道具を使ったりして、毎日役を取り換えながら劇あそびを楽しみました。劇の結末は毎回違います。「ごめんね」と謝りに来るおおかみもいれば、懲りずに2度目の襲来を試みるおおかみもいて、子供たちのイメージの広がりに応じて、毎日様々な物語が展開しました。謝りに来たおおかみがお詫びに料理を振る舞い「こぶたとおおかみの ままごと」になったり、「こぶたとおおかみの 追いかっこ」になったり、イメージを共有しながら様々なあそびへと展開していきました。



木のお家を作るぞ！
トンカチで とんとん



こんな わらの家
吹き飛ばしてやる！ふ～



つかまえた！
豚トロにして 食べちゃうぞ～！

こぶたとおおかみの ままごと

●● さつまいもの 活動 ●●

5月に園庭の畑に植えたサツマイモのつるが夏の間にごんごん伸びて、10月には驚くほど長くなりました。土の中には立派に育ったサツマイモが隠れているに違いありません。絵本「さつまいものおいも」を読んだ子供たちは、土の中で抜かれまいと頑張るサツマイモたちの様子を想像し、負けじとトレーニングを開始。いざ、決戦のいもほりです！「さつまいもに負けないぞー！」「よいしょ、よいしょ」みんなで力を合わせて長いつるを引っ張ります。抜けた～!!勝ったぞ～!!みんな大喜びでした。折れたつるがべたべたすること、葉っぱがハートの形をしていること、サツマイモからお鬚みたいな根っこが生えていることなど、体験からたくさんの気づきがありました。また、引っ張る動きや手で土を掘る動きも上手になりました。



おおきい!!



収穫したさつまいもは、バター焼きやスイートポテトを作って美味しく食べました。つる遊びを楽しんだり、つるでリースを作ったり、自分だけのサツマイモを作ったり、サツマイモをめいっぱい楽しんだ子供たちでした。



おりょうり



自分だけのサツマイモ



つるのリース



つるあそび

●● 久我山青光フェスタ「さつまの おいも」 ●●

サツマイモを使った一連の楽しい活動を、久我山青光フェスタで「さつまのおいも」の劇にして発表しました。サツマイモ畑に来た子供たちと土の中のサツマイモたちが勝負をするお話です。地上の人間役は実際にいもほりや調理をしたときの子供たちの動画をスクリーンに映し、土の中のサツマイモ役は舞台の上で子供たちが演じました。日常生活とあそびの中から出来上がった劇です。子供たちの自由な発想と豊かなイメージが広がり、サツマイモ達の愉快的な生活が楽しく表現できました。



今日はいもほり。
子供たちには 負けないぞ！



えいえいお～

劇で着る 衣装の色も
自分で 塗ったよ！



●● 冬でも元気に あそぶよ！ ●●

寒い冬も、近所の公園に出掛け、落ち葉拾いをしたり、そりで芝滑りをしたり、元気いっぱい遊びました。

カサカサ、パリパリと感触も音も楽しい落ち葉、緑の葉っぱとは違う匂いがするから不思議です。感触を楽しみながらたくさんの落ち葉を集めて学校に持ち帰り、豪快に投げ合ったり、落ち葉のお風呂や布団を作ったりして楽しみました。最後はタイヤに落ち葉と友達を入れてひっくり返して大盛り上がり。友達と一緒に楽しい！



芝滑りも子供たちの大好きなあそびです。「一緒に乗ろう！」「どっちが前に乗る？」子供同士で相談して、順番を決めて、そりに乗り込みます。一人で乗るより二人で乗る方が楽しいね♪ やっぱり、友達と一緒に楽しい！！

●● まめまき ●●

1月の終わり頃、幼稚部に青鬼がやって来て、「おなかに おにがいる子はいないか？一緒に鬼ヶ島へ行こう！また来るぞ～」と言って帰っていきました。自分のおなかに手を当て考えて「いやいや鬼がいるかも・・・」「困らせ鬼がいるよ」と自己申告を始める子供たち。さあ大変！「まめまき」に向けて準備開始です。スーパーに行って鬼が嫌いな豆やイワシを買ったり、イワシを焼いて幼稚部中をイワシ臭くしたり、豆を投げる練習をしたりと、大忙しです。

イワシはじっくり触って形や感触、匂いを確かめ、焼いて食べ、最後に残った頭で「やいかがし(ヒイラギいわし)」を作りました。「やいかがし」は、まめまき当日に備え幼稚部のいたるところに貼りました。これで準備万端です。

鬼のパンツは いいパンツ～♪
おなかにいる鬼の顔を 作ったよ。



ボールが鬼の体に くっつくから、
当たったのが 分かるよ！



トイレの入り口にも
貼っておこう！



まめまき当日、予告通り青鬼がやって来ました。鬼に連れて行かれそうになる子、友達を助けに行く子、泣いて先生にしがみつく子、いろいろな子がいましたが、みんなで豆を投げつけ戦いました。「鬼は外～」の声と共に、豆を投げる「ぱらっぱらっ」という音や、豆を踏みつける「ぼりぼり」という音が響き、何とか鬼を追い払うことができました。鬼がいなくなった後、真っ先に「みんないる？」と確認をする子供たちに、友達への思いが感じられました。鬼が来る恐怖もありましたが、頑張っって追い出したという達成感や満足感を得て、最後は晴れやかな笑顔で終わりました。



●● ひなまつり ●●

幼稚部のプレイルームに雛人形と自分たちが作った雛人形を飾って、ひなまつり会をしました。五人囃子のまねをして、鼓や締太鼓を演奏する子供たち。気分は四人囃子です。演奏後は「お雛様、どうでしたか？」と感想を訊いていました。「聴かせたい」「喜んでほしい」という気持ちをもって演奏していることが伺え、子供たちの心の育ちを感じました。

